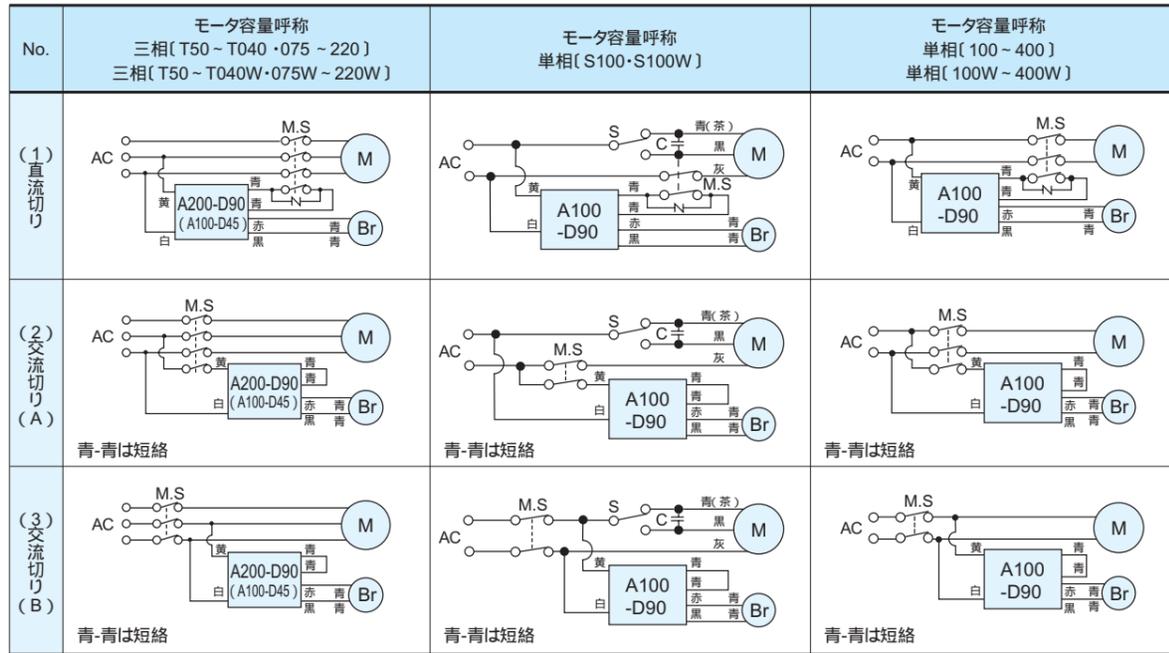


ブレーキ付ギアモートル 結線・整流器

ブレーキ付ギアモートルの結線方法

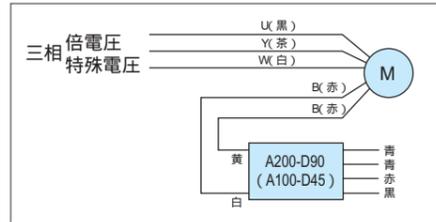
結線方法

図 - 12



M: モータ Br: ブレーキ S: 正逆転替スイッチ C: コンデンサ MS: マグネットスイッチ Z: 保護素子(オプション)

図 - 13



- 注
- 1)上下運動(昇降用)で使用される場合は直流切りを採用して下さい。
 - 2)直流切り結線の場合、接点間に保護素子を入れることを推奨します。
 - 3)単相200Vの場合、整流器はA200-D90となり、入力側はAC200V、出力側はDC90Vとなります。
 - 4)ブレーキ回路用リレーの容量は定格電流 6A(AC200V)以上のものをご使用下さい。
 - 5)整流器にはダイオードが組込んでありますので結線間違い等によりショートさせますと、使用不可能となりますので、ご注意ください。
 - 6)三相倍電圧の結線方法は、モータより200V端子(B1, B2又は、赤色リード線)が別に取り出しておりますので、この200V端子と整流器の入力端子を接続して下さい。 図 - 13 をご参照下さい。

制動遅れ時間: t_a

スイッチOFFから制動開始までの時間(秒)

(制動時間とは異なります。)

表 - 6

No.	モータ容量呼称 三相(T50~T040・075) 三相(T50~T040W・075W)	モータ容量呼称 三相(150・220) 三相(150W・220W)	モータ容量呼称 三相(S100・100~400) 三相(S100W・100W~400W)
(1) 直流切り	0.005~0.015	0.005~0.020	0.005~0.015
(2) 交流切り(A)	0.03~0.10	0.05~0.15	0.03~0.10
(3) 交流切り(B)	0.1~0.2	0.2~0.4	0.1~0.2

整流器

ブレーキ付ギアモータのブレーキ動作には、商品に付属されていまず整流器A200-D90(A100-D45)又は、A100-D90が必要です 図 - 14。結線方法により制動遅れ時間が異なりますので、図 - 12と表 - 6の結線方法から用途に応じて選択して下さい。

整流器にはサージキラーが入っておりますが、特に問題となる場合には別にサージキラー又は、ノイズフィルターを追加して下さい。



保護素子 Z / オプション No.OP-ENC471D-10A

ブレーキ直流切りSW及び電源ラインSWの火花消却用としてご利用下さい。

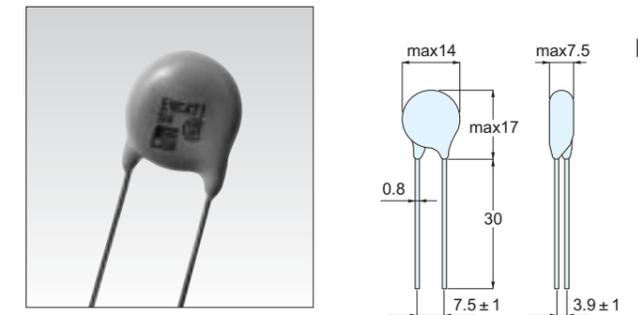
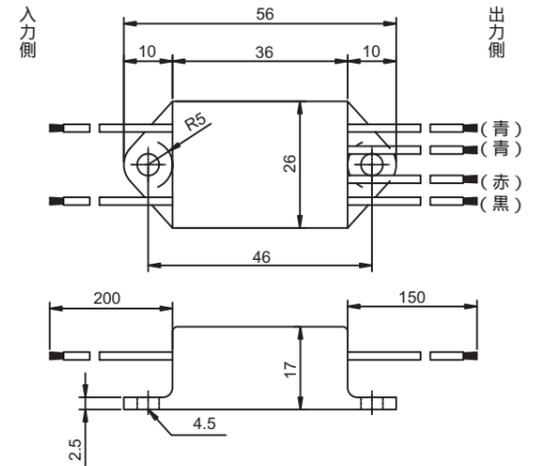


図 - 15

A200-D90・A100-D90寸法図 (A100-D45)

図 - 14



インバータを利用して速度変換される場合

ギアモータとインバータを組合わせて使用された場合、低速回転の時に異常な温度上昇(モータ表面温度80以上)を起すことがありますのでご注意ください。又ブレーキ付の場合には電圧変動によってブレーキ動作不良を起す可能性がありますので、**ブレーキの配線はインバータをバイパスさせて下さい。**又、入力回転速度により許容トルクの値が変化しますので P.59・図 - 46 により補正係数を乗じた値が出力軸許容トルクとなります。

弊社にも汎用インバータをご用意できます。お気軽にお問い合わせ下さい。

インバータ使用時のブレーキ付ギアモータ結線図例

図 - 16 - 1

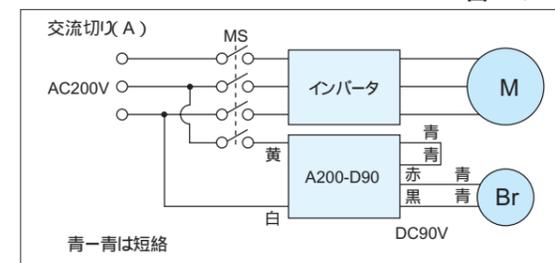


図 - 16 - 2

